

名水の魅力発信プロモーション事業業務委託

企画提案募集要項

令和7年7月

山梨県森林環境部 自然共生推進課

1 「やまなし『水』ブランド戦略」について

本県は、富士山や八ヶ岳、南アルプスなどの名峰に囲まれ、県土の約8割を森林が占めるなど豊かな自然を有しており、そこから生まれる豊かで良質な水は、県土をあまねく潤し、生産量日本一のミネラルウォーターをはじめ、米や果物などの農産物、養殖魚、日本酒などの県産品を生み出している。

また、本県は、名水百選に3箇所、平成の名水百選に4箇所が選定されるなど、「水」は名実ともに本県を代表する地域資源である。

本県では、そうした地域資源としての「水」を生かし、本県のイメージアップ、地域・産業の活性化を図るため、「やまなし『水』ブランド戦略」を策定し、健全な水循環を守り育てる「育水」の取り組みを推進するとともに、豊かできれいな山梨の水の魅力を積極的にPRしていくことにより、本県の「水」のブランド力、さらには、山梨という地域そのもののブランド力の向上を目指している。

2 業務委託の目的

本県が自然に恵まれ、豊かで良質な水を生み出す「名水の地」であるというイメージを軸に、県内外、国外に向けて、山梨の「水」の魅力についてSNS等を通じて情報発信することで、山梨の「水」ブランド力を向上させるとともに、山梨という地域そのもののブランド力を向上させ、県経済の活性化や地域・産業の振興につなげることを目的とする。

3 業務内容

(1) 件名

名水の魅力発信プロモーション事業業務委託

(2) 内容

① SNSを活用した地域資源PR業務

② ウォーターツーリズム企画

③ 観光ガイドブック制作及び配布業務

※ 詳細は、別紙「名水の魅力発信プロモーション事業業務委託 仕様書」を参照

(3) 契約期間

契約締結の日から令和8年3月27日（金）まで

(4) 予算上限額

金8,954,000円（消費税及び地方消費税を含む。）

※この金額は、契約時の予定価格を示すものではなく、企画内容の規模を示すためのものであることに留意すること。

4 企画提案に係るスケジュール

| | |
|-------------------|---------------|
| ア) 募集開始 | 令和7年7月28日（月） |
| イ) 参加申込書及び質問票提出締切 | 令和7年8月8日（金） |
| ウ) 企画提案書提出締切 | 令和7年8月28日（木） |
| エ) プレゼンテーション | 令和7年9月5日（金） |
| オ) 結果通知 | 令和7年9月8日（月）以降 |

5. 参加資格

企画提案への参加を希望する者は、「(2) 参加申込書及び添付書類」に掲げる書類を提出し、提案参加資格の確認を受けなければならない。

(1) 参加資格

- ア) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当する者でないこと。
- イ) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申し立て又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき民事再生手続開始の申し立てがなされている者（更生手続開始又は民事再生手続開始の決定を受けた者を除く。）でないこと。
- ウ) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）でないこと又は法人にあってはその役員が暴力団員でないこと。
- エ) この公告の日から審査結果の通知日までの間に山梨県から「山梨県建設工事請負契約に係る指名停止等措置要領（平成23年4月1日）」や「山梨県物品購入等契約に係る指名停止等措置要領（平成10年4月1日）」に基づく指名停止を受けている日が含まれる者でないこと。
- オ) 山梨県税、消費税及び地方消費税の滞納がない者であること。
- カ) 過去5年以内に、国、地方公共団体、公益法人からの同種または類似の業務を受託した実績を有する者であること。
- キ) 県との打ち合わせ等に迅速に対応できる手段を有する事業者又は法人等であること。

(2) 参加申込書及び添付書類

次に掲げる参加申込書及び添付書類を、各1部（ウ）のみ9部）提出すること。

- ア) 参加申込書（様式1）
- イ) 会社概要等整理表（様式2）
- ウ) 会社概要が把握可能な書類（会社パンフレットなど）
- エ) 誓約書（様式3）
- オ) 同種・類似業務実績整理表（様式4）
- カ) 実施体制表（様式5）
- キ) 業務担当者（主たる担当者）調書（様式6）
- ク) 財務諸表の写し（直近のもの）
- ケ) その他、県が必要と認める書類（指示があった場合のみ提出）

(3) 参加申込書の提出期限

令和7年8月8日（金）午後5時（必着）

提出は平日の午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までとする。

※平日とは、山梨県の休日を定める条例（平成元年3月27日条例第6号）に定める県の休日以外を指すものとし、以下同様とする。

(4) 提出場所

後述の「1.1. 問い合わせ・提出先」のとおり

(5) 提出方法

持参または郵便により行い、上記の期限までに必着のこと。

6. 質問

(1) 質問方法及び送付先

質問票（様式7）に記載し、事前に電話連絡の上、電子メールで行うこと。
送付先のメールアドレスは、後述の「11. 問い合わせ・提出先」のとおり。

(2) 受付期限

令和7年8月8日（金）午後5時

(3) 質問に回答

質問に対する回答は、参加申込者すべてに対し、電子メールで行う。
ただし、質問又は回答の内容が質問者の具体的な提案事項に関わるものについては、質問者に対してのみメール等により回答することがある。

(4) その他

電話や口頭での質問には応じない。なお、本企画提案に関連のない質問や本企画提案の公平性が保てないと判断した場合には、回答しないことがある。

7. 企画提案書・見積書

企画提案書は1参加者につき1件のみとし、次により提出すること。

(1) 企画提案書（様式8）

ア) A4判、縦型、横書き、左綴じ（A3折込可）、ページ数制限なし。

イ) 日本語表記で12ポイント以上とする。

ウ) 委託予定事項の想定作業スケジュールを示すこと。

エ) 提案書の内容には次の事項を含めること。

① SNSを活用した地域資源のPR

- ・ Instagramによる投稿予定内容とその投稿理由
- ・ Instagramのフォロワー増加企画内容とその企画理由
- ・ 国外向け公式SNSツールの選定内容、対象とする国、その理由、運営管理方法

② ウォーターツーリズム企画

- ・ 体験コースの内容、その企画理由
- ・ 起用するインフルエンサー等の選定方法とその理由
- ・ 体験記事の発信方法

③ 観光ガイドブック制作及び配布業務

- ・ 観光ガイドブックのコンセプトとその理由
- ・ 観光ガイドブックの配布場所と配布方法、その選定理由

④ 業務全体の工程・スケジュール、管理体制

オ) 企画提案にあたっては、次の資料を参考とすること。

- ・ やまなし「水」ブランド戦略、やまなし「水」ブランドマーケティング調査結果
<https://www.pref.yamanashi.jp/water/hagukumiikasu/water-brand-strategy.html>
- ・ やまなし「水」ブランドリーフレット・ブックレット
<https://www.pref.yamanashi.jp/water/booklet/index.html>
- ・ やまなし「水」ブランドPR動画
<https://www.pref.yamanashi.jp/water/shiru/mizuinfo.html>

(2) 見積書

様式は任意とし、税抜価格、消費税、積算内訳を記載すること。また、見積額は予算上限額の範囲内とすること。

(3) 提出部数及び提出方法

ア) 企画提案書：正本1部、副本9部

イ) 見積書：正本1部、副本9部

持参または郵便により、期限までに必着のこと。

(4) 提出期限

令和7年8月28日(木)午後3時(必着)

提出は平日の午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで(最終日のみ午後3時までとする)

(5) 提出先

後述の「11. 問い合わせ・提出先」のとおり。

8. 審査・結果通知等

(1) プレゼンテーション審査

日 時：令和7年9月5日(金)午後を予定(時間の詳細は別途連絡)

場 所：山梨県庁内会議室(詳細は別途連絡)

その他：

- ・ プレゼンテーション15分、質疑応答10分程度(予定)。
- ・ プレゼンテーションの参加人数は4名までとする。
- ・ プロジェクター及びスクリーンは県で用意するが、自前のプロジェクターの持ち込み可。また、プロジェクターの使用は任意とする。
- ・ プレゼンテーションに参加しない場合は、選定から除外する。

(2) 審査・結果通知

ア) 企画提案書及び企画提案のプレゼンテーションの内容及び経費について、別紙「審査基準」より総合的に審査し、第1位の者を候補者とする。

イ) 審査終了後、選定の如何に関わらず、提案者にはそれぞれの審査結果を通知する。

ウ) 後日、選定結果を山梨県のホームページで公開する。

※ホームページでの公表の内容は、評価基準、配点及び各提案者の評価基準毎の得点と総合得点、契約者の名称、契約締結年月日、契約金額とする。なお、契約者以外の提案者の名称又は氏名は公表しない。

エ) 審査結果に対する異議申立ては受け付けない。

(3) 企画提案の無効

次のいずれかに該当する場合、企画提案は無効とする。

ア) 本要項の応募資格のいずれかを満たさなくなった場合。

イ) 提出書類が所定の期限までに整わなかった場合。

ウ) 見積額が予算上限額を上回っている場合。

エ) 提出書類の内容に虚偽、不正又は本要項の定めに違反する記載があった場合。

オ) 誤字・脱字等により提出書類の必要事項が確認できない場合。

カ) その他不正な行為があった場合。

9. 契約に関する事項

- ア) 第1順位の委託候補者と協議を行い、随意契約により契約を締結する。ただし、第1順位の委託候補者と協議が整わない場合は、次点の者と協議する。
- イ) 契約書は2通作成し、双方記名押印して、各自1通を所持する。
- ウ) 仕様書は、企画提案の内容を踏まえ、変更する場合がある。
- エ) 企画提案書に記載された事項は、仕様書と併せ、契約時の仕様書として扱うものとする。ただし、業務の目的のため必要な場合は、一部修正又は調整等を行う場合がある。
- オ) 山梨県財務規則（昭和39年山梨県規則第11号。以下「規則」という。）第109条第1項に規定する契約保証金を契約締結と同時に納めること。ただし、規則第109条の2に該当する場合はこれを免除する。
- カ) 契約を締結するまでの間、本要項の定めた条件を満たさない事態が発生した場合には、契約を締結しないことがある。

10. その他

- ア) 企画提案に関する説明会は開催しない。
- イ) 企画提案及び契約手続きにおいて使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とする。
- ウ) 提出書類について、提出後の差替え及び変更は認めない。ただし、県が補正を求めた場合、又は補足資料の提出を認めた場合は、この限りではない。
- エ) 提出された書類等は返却しない。
- オ) 本提案により知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。
- カ) 提案内容に含まれる特許権など、日本国の法令に基づいて保護されている第三者の権利の対象を使用した結果生じた責任は、原則として提案者が行うものとする。
- キ) 提案者が本企画提案に要した一切の費用については、すべて提案者自身の負担とする。
- ク) 受託事業者を選定された場合は、県の担当者と密接な連絡・調整を行いながら業務を進めるものとする。
- ケ) やむを得ない理由により、配置予定担当者が業務完了までの間に変更になる場合は、事前に県の下承を得ること。

11. 問い合わせ・提出先

山梨県森林環境部 自然共生推進課
自然公園・育水・環境活動担当
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁8階
電話番号 055-223-1634 (直通)
FAX番号 055-223-1781
質問送付先 メール：shizen@pref.yamanashi.lg.jp

審査基準について

下表の基準に従って審査員が、企画提案書等について評価の観点をもとに評価した内容点を合計したものを審査点（50点満点）とする。最終的に各審査員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の提案書が複数ある場合は、見積金額が低い者を上位とし、見積金額が同額の場合は審査員の多数決により順位を決定する。

なお、審査員1名以上が内容点の評価項目のうち1項目でも評価点を0点とした場合又は審査点が25点未満の場合は失格とする。

| 評価項目 | 評価の観点 | 配点 |
|----------------------------|--|-----|
| SNSを活用した地域資源のPR | Instagramの投稿は、やまなしの「水」を生かした魅力的な内容であり、山梨県への訪問意欲の向上や県産品の購買意欲を向上させる内容か。 | 5点 |
| | 提案されたフォロワー増加企画は、フォロワー数の増加に効果的な内容であるか。 | 5点 |
| | 国外向け公式SNSツールは、利用者数が多く、フォロワーやリーチを多く獲得することが期待されるものか。 | 5点 |
| ウォーターツーリズム企画 | 提案のあった体験コースは、やまなし「水」ブランドの認知向上が期待されるものか。 | 5点 |
| | インフルエンサー等は、魅力ある者を一定の根拠をもって選定されたものか。 | 5点 |
| 観光ガイドブックの提案 | 観光ガイドブックの制作コンセプトは、やまなしの「水」の魅力を体験できるものとなっているか。 | 5点 |
| | 観光ガイドブックの配布方法及び配布場所は、効果的なものとなっているか。 | 5点 |
| 制作実績・見積書、工程・スケジュール、実施・管理体制 | ・類似業務の受託実績があり、本業務の遂行に有益な知見、ノウハウを有していると判断できるか。 | 5点 |
| | ・委託費総額、人件費等の見積金額は妥当であるか。 | |
| | 委託業務の工程・スケジュールは適切か。 | 5点 |
| | 事業実施にあたり、実施体制と管理体制が整っており、事業を効果的に運用できる体制か。 | 5点 |
| 合計 | | 50点 |

<参考>評価の基準について

内容点の各評価項目における評価基準は、次のとおりとする。

- ・優れている／期待できる (5点)
- ・やや優れている／やや期待できる (4点)
- ・どちらとも言えない (3点)
- ・やや劣る／あまり期待できない (2点)
- ・劣る／期待できない (1点)
- ・要求水準を満たしていない (0点)